

# 天井板撤去について

## ○ 新御坂トンネルと愛宕トンネルの概要

トンネル名	供用年月日	延長	天井板	備考
新御坂トンネル	S42年4月7日	2,778m	全線に設置	H16年度、H20年度に天井板と吊り金具を補修
愛宕トンネル	S52年4月1日	785.1m	L=352mに設置	天井板はH2年度に設置

## ○ トンネル付近の交通量

調査地点	交通量（平日）		交通量（休日）	
	10,026台/12h	12,533台/24h	12,683台/12h	15,854台/24h
新御坂トンネル	10,026台/12h	12,533台/24h	12,683台/12h	15,854台/24h
愛宕トンネル (東坑口付近)	17,668台/12h	22,968台/24h	16,470台/12h	21,411台/24h

(H22 センサス；9月～11月)

## ○ 撤去する方向で検討するとした理由

・安全性は確保されているが、県民の方から不安視する声も多く出ていることから、更に県民の皆様に安心して利用して頂くため、撤去する必要があると判断した。

(H25. 2. 27知事表明)

## ○ 天井板撤去に関するスケジュール

・H24年度の経済対策補正予算でトンネル本体（コンクリート覆工、坑門、天井板、内装版、排水施設、路面等）の状況調査や、附属施設の位置の特定、断面の計測などの測量・調査を行う。（3月に契約済み）

- ・ 測量調査の結果を踏まえ、天井板撤去に向けた調査・設計において、撤去する際の諸課題を総合的に検討・整理していく。（H25年度早々に発注予定）
- ・ 並行して関係機関との調整も進める中で、利用者にできるだけ迷惑が掛からない施工時期・方法を決定する。
- ・ 大きな支障がなければH25年度中に着手する（予定）。
- ・ 撤去するまでは、3ヶ月に1度の詳細な点検を行う。

平成25年春

検討業務発注

<利用者への影響>

- ・ 撤去時に通行止めにするため、利用者に迷惑ができるだけかからない実施方法、時期を検討。
- ・ 施工時の交通規制方法の検討
- ・ 関係機関との協議（公安委員会、関係道路管理者など）

<環境への影響>

- ・ 換気方法の検討（既存施設の活用を含む）
- ・ 地元関係者との調整

平成25年末

検討結果取りまとめ

（工事開始準備）

平成25年度末

検討結果取りまとめ

（撤去関連工事）

平成26年度末

天井版撤去完了